

# EEMシリーズ 取扱説明書

## ◆安全に関する重要な内容です。



ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。


本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆適合プラグ以外使用しないでください。 ⇒火災・感電の原因となります。
	◆定格電圧・定格電流を守ってご使用ください。 ⇒焼損・火災の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等 強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
	◆ぬれた手でプラグの抜き挿しを 行なわないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆プラグはコンセントへ確実に挿し込んでください。 ⇒火災・感電・地絡の原因となります。
	◆プラグを抜く際はプラグを持ち、コンセント面 に対して垂直に抜き、コードを引っ張らないで ください。⇒コンセントの破損・脱落の原因となります。
	◆コンセントが破損した場合は必ず使用を 中止してください。 ⇒火災・感電の原因となります。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆抜き止めコンセントの場合、プラグロック状態では 絶対に引っ張らないでください。 ⇒破損の原因となります。
 必ず守る	◆乾燥した場所でご使用ください。 ⇒機能不備の原因となります。
	◆プレートフタで手をはさまないように 注意してください。 ⇒けがの原因となります。

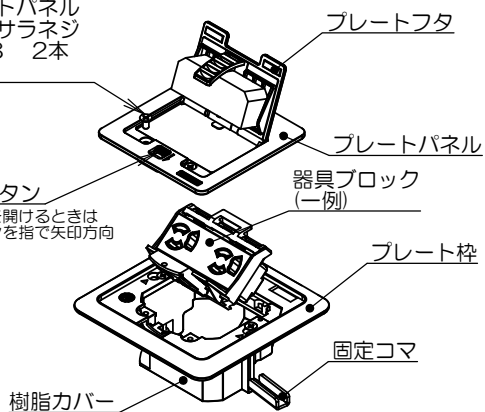
保守・点検について	
 必ず守る	◆本製品及び使用プラグは定期的に点検を行ない、 乾いた布などでホコリを取り除いてください。 ⇒焼損・火災の及びプレートの開閉不良の 原因となります。
	◆プレートの表面の汚れは、 固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。
	◆本製品が破損・故障した場合は、 速やかに施工工事店へ連絡してください。

## ◆部品構成と名称

EEM10000「」  
EEM30000「」

プレートパネル  
取付用サラネジ  
M4×8 2本  
添付品

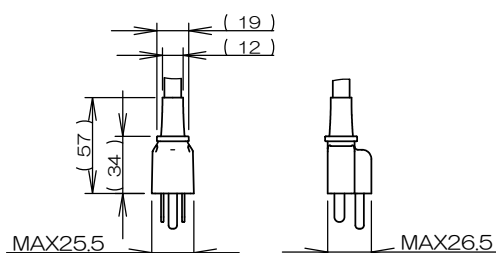
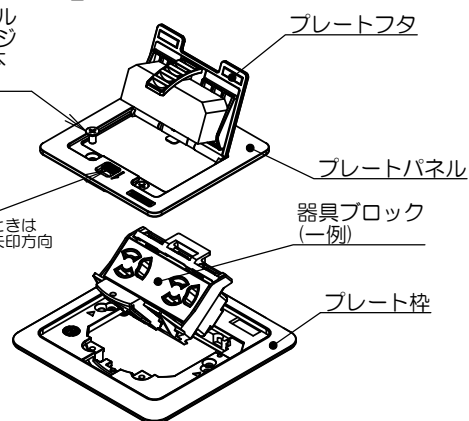
スライドボタン  
プレートフタを開けるときは  
スライドボタンを指で矢印方向  
に動かします。



EEM20000「」  
EEM40000「」

プレートパネル  
取付用サラネジ  
M4×8 2本  
添付品

スライドボタン  
プレートフタを開けるときは  
スライドボタンを指で矢印方向  
に動かします。



適合コンセントプラグ寸法(一例)

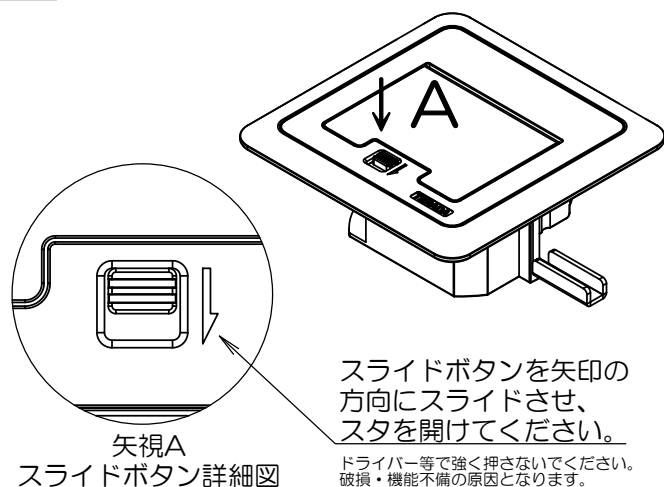
※形状によっては適合しないコンセントプラグもあります。

注意：本図はEEM10000「」(一例)

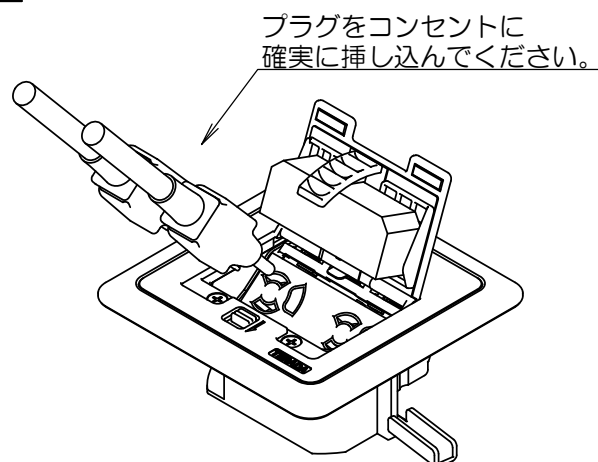
注意：本図はEEM20000「」(一例)

# ご使用方法

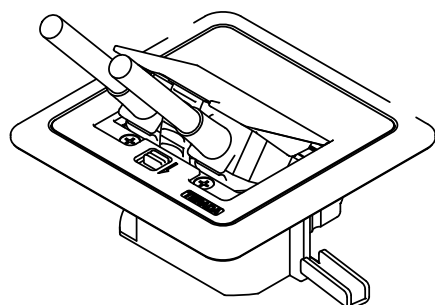
## 1 プレートフタを開ける



## 2 プラグの挿し込み

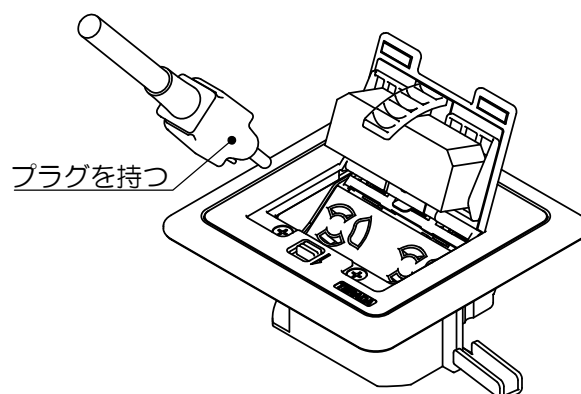


## 3 プレートフタを閉める



スライドボタンを矢印の方向にスライドさせながらプレートフタを適切な高さで段階固定してください。

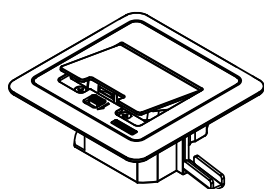
## 4 プラグを抜く時の注意点



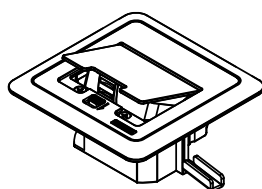
プラグをコンセント面に対して垂直に抜き、コードは引っ張らないでください。

## 5 プレートフタの段階固定について

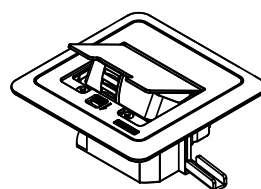
本製品はプレートフタの高さを4段階で固定可能です。プラグの大きさやコードの径に合わせて固定してください。



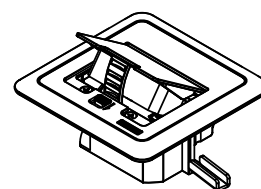
1段階



2段階



3段階



4段階

### ◆注意◆

プレートフタを段階固定時または開いている状態で重いものを乗せたり、ぶつける等強い衝撃を与えないでください。破損・機能不良の原因となります。

## ■お問い合わせ先

# 株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361

# EEMシリーズ 施工手順書


## ◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。  
 施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。  
 ※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。  
 注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。









### 警告

 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 禁止	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
 必ず守る	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者が行なってください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

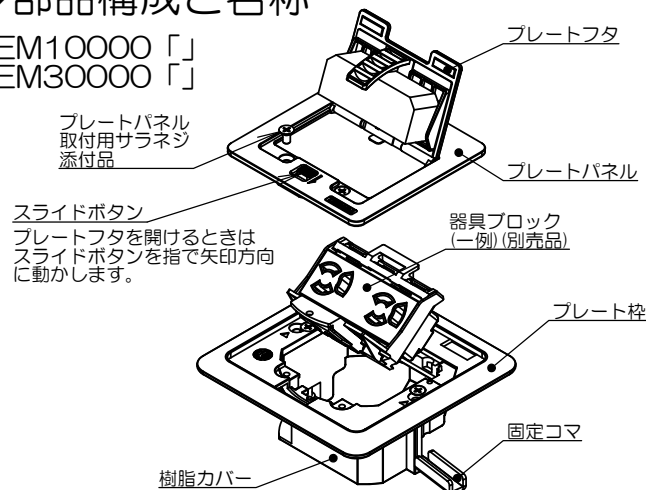


### 注意

 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
 禁止	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 禁止	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
 禁止	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
 必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

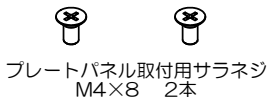
## ◆部品構成と名称

EEM10000「」  
EEM30000「」

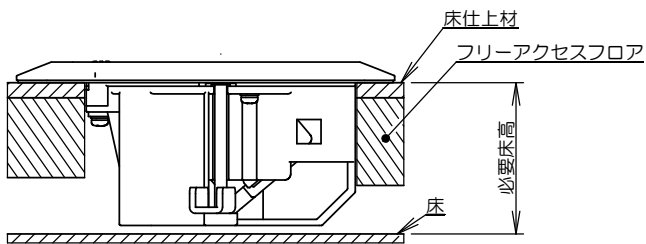


◆注意◆  
 ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。  
 破損・機能不良の原因となります。  
 ・本図はEEM10000「」です。

### 添付品



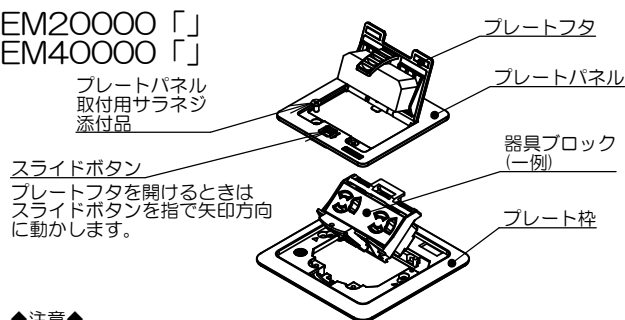
### 必要床高寸法



フリーアクセスフロア施工状態図

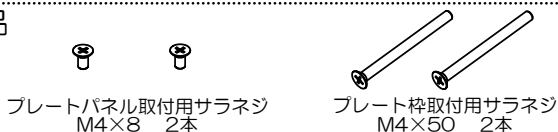
本製品の必要床高寸法は50mm以上となります。  
 ※CAT6モジュラジャック、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高70mm以上となります。

EEM20000「」  
EEM40000「」

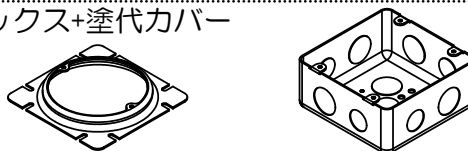


◆注意◆  
 ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。  
 破損・機能不良の原因となります。  
 ・本図はEEM20000「」です。

### 添付品



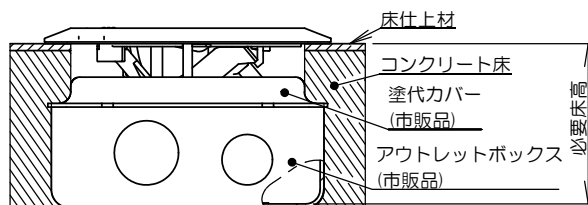
### 対応ボックス+塗代カバー



組合 せ	必要床高
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー (P=89mm)	68mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上

※CAT6モジュラジャック、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高75mm以上となります。

### 必要床高寸法



電線管床工事施工状態図

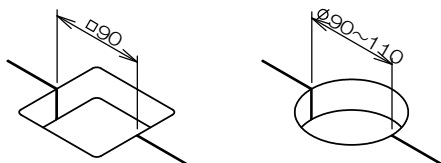
# 施工方法

## フロアパネル

## 電線管工事

### 1 開口寸法確認

フロアパネルの開口を確認してください。  
フローリング床・木床を開口する場合は下記寸法で開口してください。  
その後、仕上げ材を敷き、開口に合わせてカットしてください。

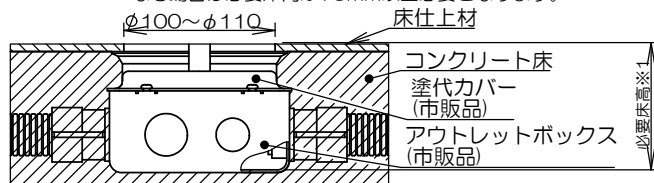


※フロアパネルへの新規開口は推奨しません。

### 1 ハツリ作業

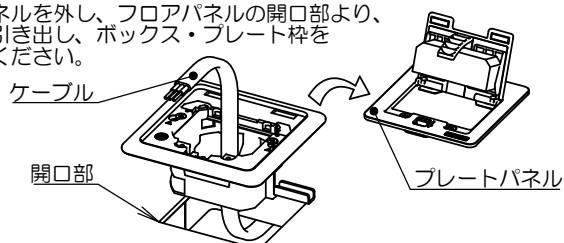
コンクリートをハツリ、床仕上げ材も開口してください。  
また、塗代カバーは市販の鉄製大四角大丸穴塗代カバー(P=89mm)をご使用ください。

※注1. ご使用になるアウトレットボックス・塗代カバーの種類により必要床高寸法が変動します。(対応ボックス+塗代カバー参照)  
またCAT6、CAT6Aモジュラージャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高が75mm以上必要となります。



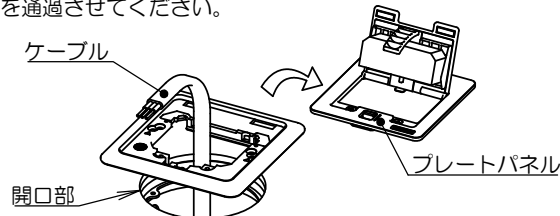
### 2 ケーブルの引き出し

プレートパネルを外し、フロアパネルの開口部より、ケーブルを引き出し、ボックス・プレート枠を通過させてください。



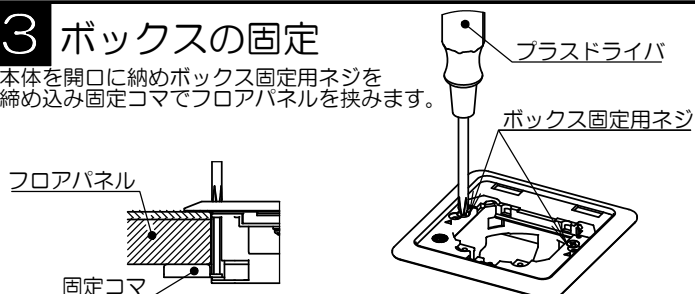
### 2 ケーブルの引き出し

プレートパネルを外し、開口部よりケーブルを引き出し、プレート枠を通過させてください。



### 3 ボックスの固定

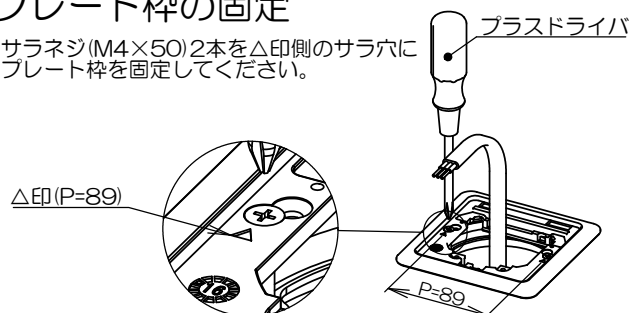
本体を開口に納めボックス固定用ネジを締め込み固定コマでフロアパネルを挟みます。



※ボックスを外す際は必ずボックス固定用ネジを緩めてください。  
ただし、固定コマを下げ過ぎると破損や機能不良の原因となります。

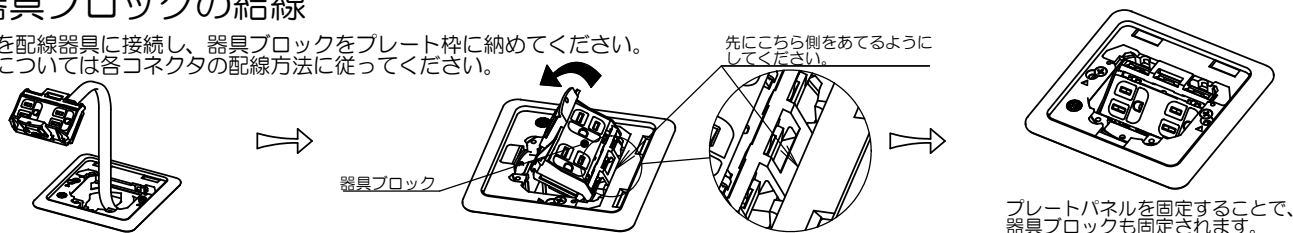
### 3 プレート枠の固定

添付のサラネジ(M4×50)2本を△印側のサラ穴に入れ、プレート枠を固定してください。



### 4 器具ブロックの結線

ケーブルを配線器具に接続し、器具ブロックをプレート枠に納めてください。  
配線方法については各コネクタの配線方法に従ってください。



### 5 プレートパネルの固定

プレートパネルの突起とプレート枠の角穴を嵌ませ、納めてください。  
添付のサラネジ(M4×8)2本を締め込みプレートパネルを固定し、設置完了です。



## ■お問い合わせ先

# 株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361